

衣装がくれた「居場所」

はっつきり感じられた出来事だった。それから、
くなっただ。「ここは私の居場所がある。それが、
りがとう。」「と言った瞬間、胸の奥が熱
だけだった。配布した際にメンバ―があ
その年は既製品のスポーツ―な衣装を選ぶ
的に感じられ、思い切った立候補した。結局
それでもその仕事は、今の自分にとっても魅力
作りたいたいという願望があったわけでもない。
特別センズがあるわけでも、こだわりの服を
ずれた。冬大会の衣装係を募集していたのだ
を覚えた。しかし、一年生の冬、転機がおと
は、まるで暗闇に取り残されたように心細さ
されず、部員としてこの役割も見つからない私
ンや大会出場が決まっていた。誰からも評価
動では、技術の高さによってフオーメ―ション
でもなく、存在感がどこにもなかった。部活
特別上手いわけど、かといって下手なわけ
た。憧れのダンス部に入部したのも、私の
中学校生活は、最初から大きな壁にぶつか
「中学デビュー」を目標に掲げて始まった

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | た | 私 | て | 「 | 現 | 装 | 長 | 制 | う | 象 | す | っ | っ | の | 分 | 定 | 引 | も | 引 |
| | 。 | の | い | 衣 | す | に | 期 | 作 | 状 | 化 | べ | た | た | 的 | の | 、 | き | ら | 退 |
| | | 人 | る | 装 | る | は | プ | か | 態 | ―― | て | 「 | 。 | と | 作 | 縫 | ら | ま | |
| | | 生 | 。 | 」 | 確 | 、 | ロ | ら | ―― | ―― | 報 | と | 後 | な | っ | 製 | っ | で | |
| | | の | あ | に | か | 言 | ジ | フ | に | 自 | わ | 言 | 輩 | り | た | ま | る | 。 | 、 |
| | | 方 | の | と | な | 葉 | ェ | ア | に | 分 | れ | わ | か | な | 衣 | も | 衣 | 年 | す |
| | | 向 | を | て | 力 | で | ク | ッ | 苦 | を | た | れ | ら | が | 装 | 自 | 装 | を | べ |
| | | を | 静 | つ | が | は | ト | シ | し | 他 | 気 | 先 | 「 | あ | を | 分 | を | 重 | の |
| | | か | か | も | あ | 伝 | の | | | | | | | | | | | | |